

保険と資産運用

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2024.7.23

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



保険商品設計の高度化

現代の社会構造の変化に伴い、保険の必要性も変化してきました。顧客本位の視点から保険会社、または最適な業者によって真に必要とされる保険の社会的機能を提供していく必要があります。

バンドリング、リバンドリング、アンバンドリング

保険契約者の多様化のニーズに応じるため保険商品が複数の金融機能を結合させる(バンドリング)、または従来バンドリングされた機能を一旦解体させて(アンバンドリング)、加入者の利益から考えた金融機能を設定するために機能の再結合(リバンドリング)することが必要です。従来のバンドリングは契約者にとって不要な機能まで含まれて契約料を支払わせ、また商品の複雑化に伴い各種弊害が生じます。保険商品に限らず、保険会社を含めて顧客視点から金融機関の解体、再編も考えられます。

様々な投資対象への投資

保険運用においては契約者への安定的な利差益還元が求められます。元本の保全を図りつつ、保険負債の長期性と大きな集積としての固定性を活かし、運用の高度化を図る必要があります。

保険負債の資本性と運用の高度化

保険負債では、個々の負債は日々変動していても、巨大な集積としての負債合計において大きな変動がなければ、資本性があるといえるのではないのでしょうか。資本性があるならば、流動性リスクをとる余地があり、運用の高度化へとつながります。

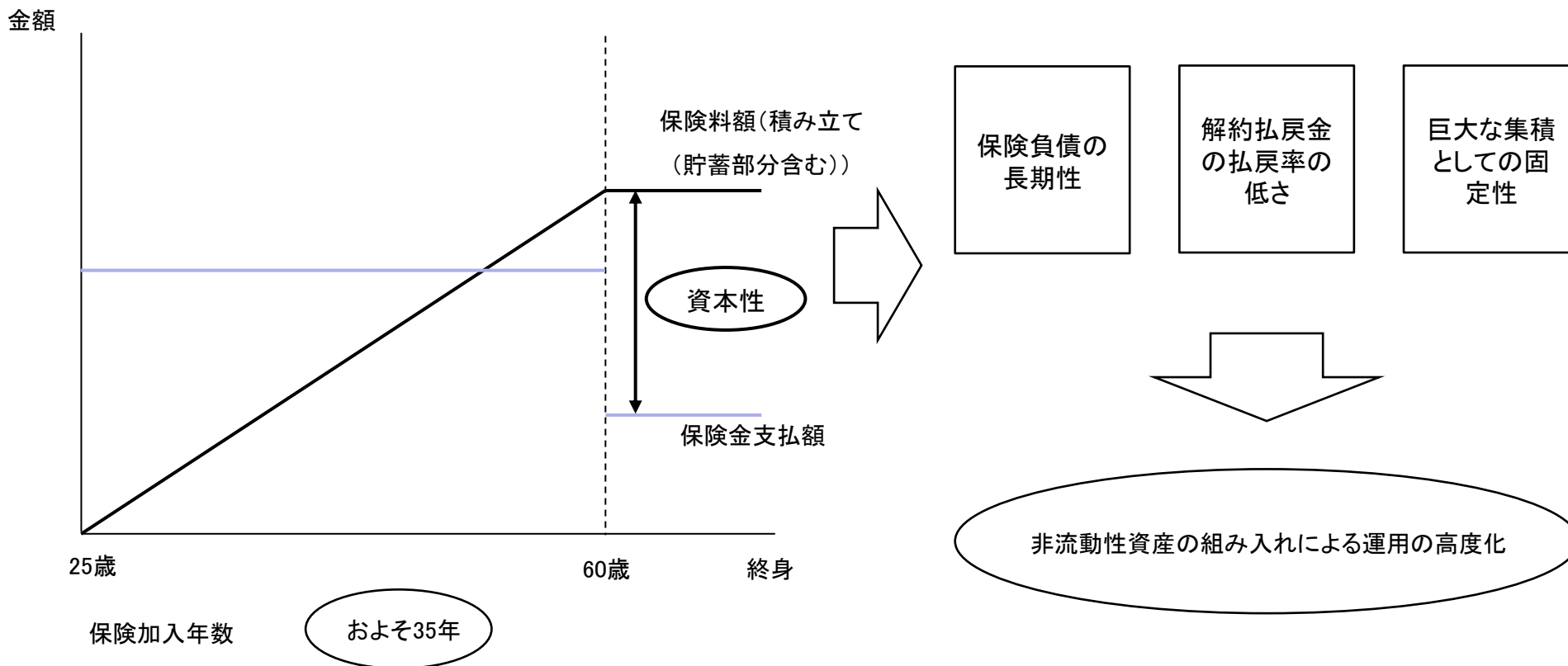
資産価格の変動ではなく資産価値の維持と増殖

資産は、それ自体に本源的な収益を内包したものです。本源的収益が資産の価値ですが、その資産の価格は市場原理によって形成されるので、必ずしも価値と一致しません。価格変動は管理できないものなので、長期的な視点のもと、資産価値の維持と増殖を目的とする必要があります。

保険負債の資本性と運用の高度化

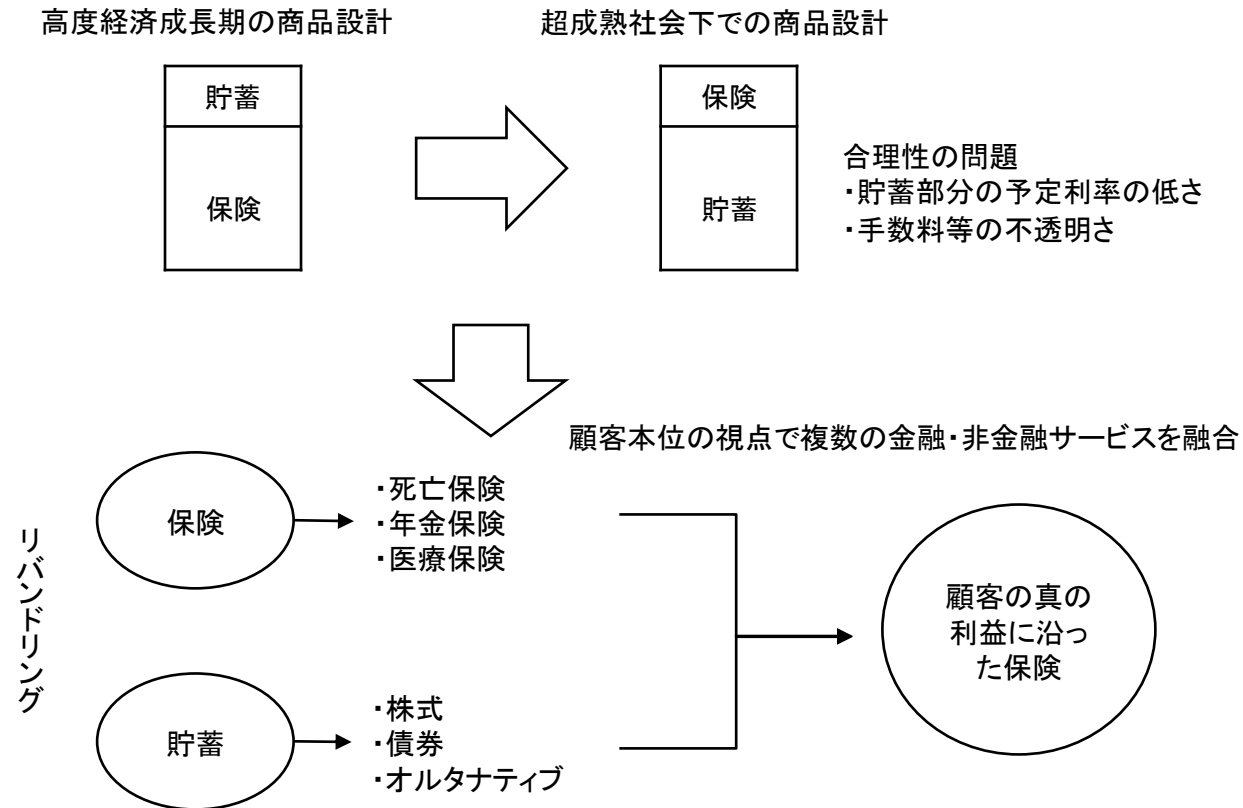
保険負債では、個々の負債は日々変動していても、巨大な集積としての負債合計において大きな変動がなければ、資本性があるのではないのでしょうか。保険会社はこのような保険負債の長期性と固定性を生かし、運用の高度化を図る必要があります。

生命保険負債の資本性



保険商品設計の高度化

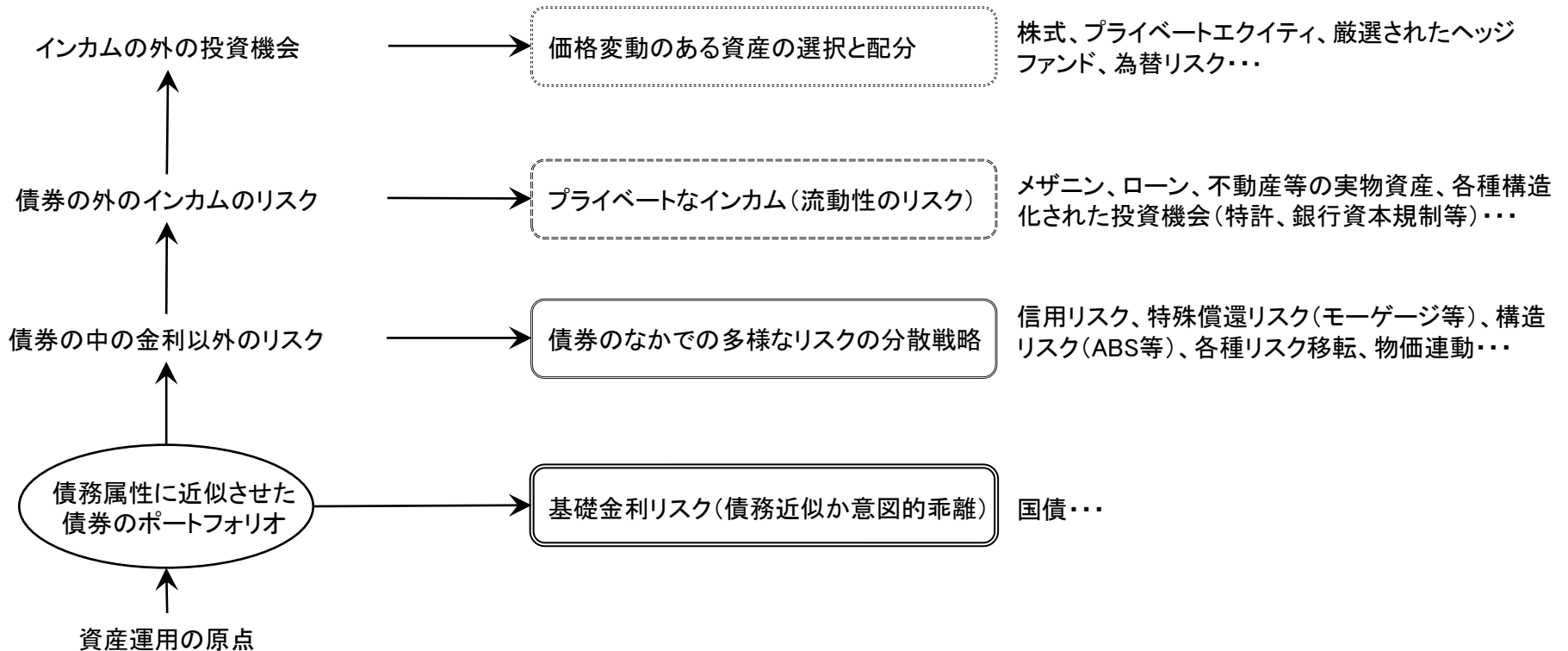
社会構造の変化に伴い、保険の必要性も変化してきました。顧客本位の視点から保険会社、または最適な業者によって真に必要とされる保険の社会的機能を提供していく必要があります。まず第一に保険の純化を行うこと、そして顧客のニーズを的確に理解することが重要であり、最終的に個々の顧客ごとに高度に設計された商品を提供する必要があります。



様々な投資対象への投資

保険運用においては契約者への安定的な利差益還元が求められます。元本の保全を図りつつ、保険負債の長期性と大きな集積としての固定性を活かし、運用の高度化を図る必要があります。

- ⇒ 資産構成によって債務属性を複製することは極めて困難である。
- ⇒ 債務属性に占める金利要素は圧倒的に大きい。
- ⇒ 債券の外にある金利要素を軸とした収益機会をインカムと呼ばば、インカムの追求により金利リスクを抑制しつつ付加価値を生むことができる。
- ⇒ インカムの外の機会は限定的にとどめるべき。



講演後アンケート

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/zccrJ4juuaXXdMQy6>

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。